

## 画像診断部

技師長 中村伸治

### 人事

画像診断部は中村技師長、島崎主任、久保主任、竹内主任、門脇主任、田村主任、岸田主任以下 25 名で、総勢 32 名体制です。3 月に池央が退職し、4 月に岡村貴仁、落合智子、田所未帆の 3 名が入職しました。

### 活動状況

2020 年はコロナに始まり、コロナに終わるそんな年でした。感染予防の防護衣やマスク、帽子が品薄で、防護衣の代わりにレインコート、帽子の代わりにシャワーキャップを使用しました。12 月になって高知県の感染者が増え、近森病院でも入院受け入れが始まるかもしれないとのことで、感染対応で CU 病棟ポータブル撮影マニュアル作成と実施訓練を行いました。実際の受け入れはありませんでしたが、感染に対するスキルアップになったと思います。

外来センター一般撮影で、着替え効率化のため MRI 準備室に着替え用のカーテンを着けてもらいました。活用することで、渋滞が緩和できました。9 月には電子カルテの入れ替えで、伝票運用をおこなっていましたが、大きな混乱はありませんでした。

装置では、2006 年から使用していた 2 番 CT を 9 月 18 日から 9 月 24 日までの 7 日間で、VCT (GE 社) から Rev EVO CT (GE 社) に入れ替えました。2 番 CT はレイアウトの関係で使用頻度が高く、全 CT 撮影のおよそ半分の件数を担っています。新し装置に更新したことでこれまで以上に、どんどん撮影をしていきたいと思っています。

5 番 CT 装置は 2018 年 2 月の導入ですが、撮影中に高圧の放電でパンパン音が出るようになったため、X 線管球と高圧トランスの交換をしました。

IVR-CT では年明け早々に、フロント側の管球が切れ、管球の交換をしました。水循環用ポンプヘッドはラテ側で故障交換、フロント側で予防交換を行いました。

ポータブル・一般撮影で 1 曝射 2 画像表示ができるソフトウェアの導入で、一般的な画像と、コントラストを上げた画像がその場で確認でき、OP 室での異物確認や ER の判りにくい骨折の撮影で効果を発揮しました。

血管撮影装置 B-1 では、ラテ側管球が切れ、管球の交換をしました。X 線管冷却器からの水漏れがあり、冷却器を交換しました。

メーカーの技術者さんとともに、翌営業日までには装置が使用できるように整備をしています。対応していただくメーカーさんには感謝しております。

検査件数は昨年と比べると減少傾向にあります。【表 1】に示すように、総検査件数は 4.8% 減の 102,600 件、夜間帯件数 (17 時から 8 時 30 分まで) は 11.2% 減少の 15,417 件でした。休日 (土日祝日) は、2.4% 減少の 9,345 件でした。【表 2】に示す年間の主な検査件数では、ポータブル撮影を含む一般 X 線撮影件数は 65,616 件で、前年比 5.3% の減少。血管撮影件数は 3,415 件で、前年比 3.5% の増加。CT 検査は、21,691 件で、前年比 7.7% の減少。MRI 検査は 6,630 件で、前年比 0.1% の減少。RI 検査は、661 件で、前年比 9.1% の増加でした。【図 1】には 2016 年～2020 年の主な検査の外来割合を示しています。一般 X 線撮影検査 64.6%、CT 検査 75.2%、MRI 検査 73%、RI 検査 39.5% で、昨年と比較すると一般 X 線撮影検査と CT 検査がやや増加、MRI 検査と RI 検査は増加でした。【表 3】CT 検査での CT アンギオは 1,587 件で、前年比 6.1% の増加で、多断面画像の作成は 2,489 件で、前年比 17.1% の減少でした。撮影の方法や造影剤の注入タイミング、患者さんに挿入されているカテーテルへの対応、スキャン計画の高度化、被ばく線量低減の計算等で時間を取られています。各科の要望に応えられるよう日々努力を積み重ねています。学会での発表や講習会への参加で研鑽を行っています。

【表 1】 検査総件数と時間外件数

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	前年比
総件数	106,987	108,765	108,035	107,718	102,600	95.2%
夜間帯件数	17,764	17,658	16,941	17,352	15,417	88.8%
休日件数	9,231	9,389	9,421	9,576	9,345	97.6%

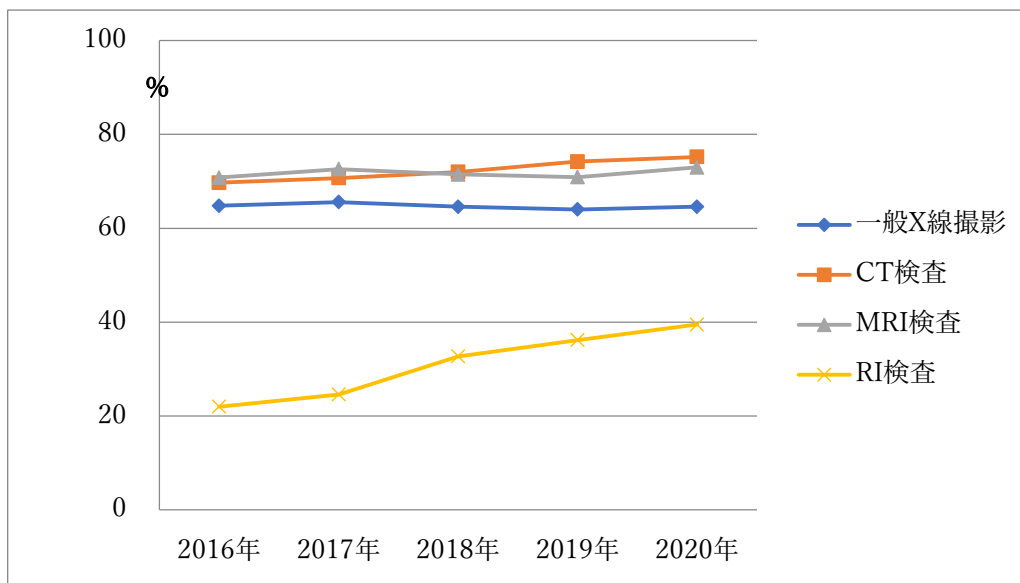
【表 2】 主な検査件数

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	前年比
一般 X 線撮影検査	69,726	70,794	69,966	69,279	65,616	94.7%
血管造影検査	2,962	3,176	3,200	3,298	3,415	103.5%
CT 検査	22,548	22,914	22,697	23,491	21,691	92.3%
MRI 検査	7,015	7,062	7,070	6,635	6,630	99.9%
RI 検査	1,021	688	715	606	661	109.1%

【表 3】 CTA、3D-MPR 作成件数

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	前年比
CTA	1,621	1,544	1,545	1,496	1,587	106.1%
3D-MPR	2,707	2,873	2,990	3,004	2,489	82.9%

【図1】2016-2020年 主な検査外来検査割合



		一般 X 線撮影	CT 検査	MRI 検査	RI 検査
外来割合	2016年	64.8%	69.7%	70.8%	22.0%
外来割合	2017年	65.6%	70.7%	72.6%	24.6%
外来割合	2018年	64.6%	72.0%	71.5%	32.7%
外来割合	2019年	64.0%	74.2%	70.9%	36.2%
外来割合	2020年	64.6%	75.2%	73.0%	39.5%

## 学術発表・講演会等

### 学会発表

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
医療放射線に関する安全管理研修会 (報告を含む)	高橋宏幸	令和元年度公益社団法人高 知県診療放射線技師学術大 会	2月2日 高知

### 研修会

テーマ	講師	学会名	開催
エチケット・マナー 気管支解剖	高橋宏幸 中村伸治	2020年度日本診療放射線技 師会 フレッシュアップセミナ ー高知会場	8月30日 高知
下部消化管検査と腸内ガスの吸引の ためのチューブ挿入等の実習指導	中村伸治、西川恭平	日本診療放射線技師会 業務 拡大に伴う統一講習会	2月23日～ 24日高知